

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2006年度～2009年度

課題番号：18530730

研究課題名（和文）授業の連携からみた家庭科ならびに栄養教諭に望まれる資質能力と
教員養成の研究

研究課題名（英文）Research on the desired qualities and abilities of and the training of
home economics and diet and nutrition teachers from the
perspective of collaborative classes

研究代表者

尾崎 沙和子（SAWAKO OZAKI）

女子栄養大学・栄養学部・教授

研究者番号：20076178

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：教育学・教科教育学

キーワード：家庭科、栄養教諭、アンケート調査、インタビュー、ビデオ教材、連携授業にお
ける課題、教師教育、資質能力

1. 研究計画の概要

本学は家庭科並びに栄養教諭の養成校である。両教諭は教育現場において連携授業を実施しつつ、望ましい食習慣形成の教育を目指す。そのため研究者らは教員養成の立場から、(1)家庭科教諭、学校栄養職員、栄養教諭等に対してアンケート調査・インタビュー・ビデオ作成等を実施、(2)連携授業における課題を把握、(3)食育推進施策の現状と課題を鑑みて、(4)両教諭相互の資質能力向上に向け、カリキュラムの提言を行う。

2. 研究の進捗状況

(1)家庭科教諭、学校栄養職員、栄養教諭等に対してアンケート調査を実施した結果は以下の通りである。栄養教諭制度に対する家庭科教諭の意識には、同じ「食の指導」という点で共通していることから、回答者の2割は複雑な思いを抱いていることが分かった。しかし栄養教諭への期待感も大きく、特に食を専門とする本学卒業の家庭科教諭への調査からは、栄養教諭との連携授業が食の指導に望ましい結果をもたらす、と捉えていることが伺われた。家庭科教諭の食育に対する考えは、担任としてまた授業で生徒に触れる機会が多いことから、日常生活を通して生徒に働きかけることがより効果を上げることができるとの考えを持っていることが分かった。

学校栄養職員の多くは連携授業で様々な問題に直面しており、カテゴリーで示す

と「打ち合わせ等時間に関するもの」「学校や教員側の栄養教諭に対する認識に関するもの」「児童生徒理解に関するもの」「自分の力量に関するもの」等、連携授業における課題が明らかとなった。

(2)栄養教諭・家庭科教諭へのインタビューから栄養教諭の勤務状況、連携授業についての考え方をある程度把握することができた。さらに考察を重ねる。

(3)栄養教諭を目指す短大生に研究者らが作成した連携授業のビデオを視聴させ、教育実習の事前・事後指導に関わって栄養教諭の職務理解度への有効性を検証しつつある。

3. 現在までの達成度

おおむね順調に進展している。

理由

(1)家庭科教諭、学校栄養職員、栄養教諭を対象とする調査がほぼ終わり、栄養教諭に対しての期待と連携授業における課題をある程度把握できたので、大学の紀要に発表した。

(2)埼玉県、福井県、三重県、群馬県等の小・中学校において、栄養教諭へのインタビューを実施した。

(3)連携授業（小学校・中学校の家庭科）のビデオを作成し、担当教諭に連携授業についてのインタビューを実施した。

4. 今後の研究の推進方策

東京都区内の食育推進施策の状況と課題

を鑑み、(1)～(3)を踏まえ、教員養成のカリキュラムに関して提言する。

5. 代表的な研究成果
(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計5件)

香川明夫、栄養教諭・学校栄養職員のための食育実践マニュアル、学校給食、58/4～58/12、各巻74、75、2007年、59/1～59/3、各巻74、75、2008年、査読無

香川明夫、心と体をはぐくむ食を目指して、月刊栄養教諭、春号、70～73、2007年、査読無

香川明夫、本人と学校に求められる栄養教諭の生かし方、教育ジャーナル、46-4、50～53、2007年、査読無

尾崎沙和子、西本憲弘、香川明夫、栄養教諭への期待と連携授業における課題の一考察 家庭科教諭並びに栄養教諭・学校栄養職員等への意識調査から、女子栄養大学紀要、第39号、81～91、2008年、査読有、

Junko Fujikura, Shimako Muto, Yukari Takemi, Hitomi Okubo, Hisako Tanaka, Akio Kagawa, and Satoshi Sasaki The Sakado School-based “Shokuiku” Food and Nutrition Education Project Asia-Pacific Journal of Public Health 20巻、57～63、2008年、査読有

[学会発表] (計1件)

香川明夫、小学生における主観的楽しさと食における家族との関わり、日本学校保健学会、2007年9月4日、和洋女子大学

[図書] (計2件)

江川玟成、香川明夫 (共著) 時事通信社、最新教育キーワード 137、2007年、318 (218、219)

笠原賀子、香川明夫 (共著) 医歯薬出版、栄養教諭を目指す栄養教育実習ノート、2007年、69 (1、8)